

活動をしている宮野義広、永江竜心、樋浦幸江、草開孝江の各氏がそろって来庁しました。社会を明るくする運動への理解、そして刑法犯の再犯防止のための適切な居場所や仕事の場づくりが必要であることを訴えました。写真。



「社会を明るくする運動」は法務省が主導して毎年7月を重点月間として行っています。犯罪や非行のない社会、過去に犯罪や非行を起こした人、非行歴のある少年の更生に対する活動と理解を深める取り組みです。

農協から「ちやぐりん」寄贈
7月14日、東川町農業協同組合(樽井功組合長)は町教育委員会にJAグループの児童月刊雑誌「ちやぐりん」8月号(A4版160頁、家の光協会発行)を寄贈

しました。写真。馬場伸二専務、宮崎俊章専事が来庁し、林万里教育長に50冊を寄贈しました。



昨年同月号寄贈に次いで2回目。8月号は「田んぼとお米・十八のへえ」ブックをテーマに20ページの特集を組んでいます。

「お米の基本」と題して、「春：1つの葉が300〜千倍に」と1本の幼苗が分けてついでイネの穂数が増えることを説明。「夏：イネの開花、草取り」「秋：収穫、刈り取りと天干し」「冬：乾燥、貯蔵、ぬか、わら利用」とお米作りの1年間を紹介しています。「田んぼが守ってきたものはなに？」と水田に生きる小さな生物や昆虫、田んぼが作り出す自然環境も紹介。別冊付録として、田んぼとそこに暮らす生き物たちの様

子を分かりやすく図解した立体絵本も付いた特集号です。夏休みの自由研究の参考にもなる内容がいっぱい。町教委では町内各小学校の図書室と文化交流館、学童保育に備えることにしています。



盛永組、東海産業が道路清掃ボランティア

7月14日、(株)盛永組(旭川、盛永喜之社長)、(株)東海産業(同、津山健社長)の両社作業員が町内の道路で除草ボランティア清掃を行いました。写真。北5線道路から富山神社までの西4号道路(約1.1キロ)、富山神社前歩道(約900メートル)など道路5カ所延べ約10キロを、昨年続いて路肩縁石の除草をさせていただきました。ありがとうございます。

尾田工業が農協カントリーエレベーター解体機の見学会



6月27、28の両日、町教委は東町2丁目にあった東川町農協の米乾燥貯蔵施設とカントリーエレベーターの解体見学会を行い、町内の4小学校の1年生から6年生までの児童が珍しい大型の建物解体機を見学しました。写真。

コンクリート建物など解体業の(株)尾田工業(旭川、尾田鉄男会長)が実施する解体工事で、高さ40メートル(11階建てビルに相当)まで対応できるという大型の建物解体専用機を使うことになり、尾田会長から見学会の申し出がありました。解体用破砕機は、道内最大の破砕能力を持つといい、交代で運転台にも乗せてもらって「うわーっ、すごい！」とみんな大興奮。町内随一の高さだった米麦生産流通合理化プラント、カントリー

エレベーターは、1965(昭和40)年、東川町農協が建設しました。収穫した米麦のみ乾燥から貯蔵までを一貫作業し、運搬までを簡略化できる道内初のもみ乾燥一貫貯蔵大規模施設でした。1969(同44)年に一時乾燥施設を増設。もみすり調整、自動計量、包装までを一貫して行う施設として能力増強しましたが、その翌年から米の生産調整(減反政策)が始まったため、米に代わって転作小麦の作付け、生産が増加。小麦の乾燥貯蔵施設として限定的な利用にとどまり、1998(平成10)年ごろからは利用されないままになっていました。

思いやりを育てようー学校花壇で「人権の花」運動

6月19日、第一小学校(岡本美雪校長、児童30人)で「人権の花」運動に呼応して学校花壇作りを行いました。写真。「人権の花」運動の一環として、法務省と町が町内4小学校にそれぞれインパチェンス、ペゴニア、ペチュニア、ジニア、マリーゴールド5種の花の苗とプランター、培養土を贈りました。全校生で花壇作りを行いました。花を育てる心で思いやりの心も育てようーときれいな花が咲きそろうのを楽しんでいます。

7月11日、町内人権擁護委員の馬場猛さん、安井繁光さん、松林加代子さん、盛永小夜子さんの4人と、人権イメーτζキヤラクターの「人KENまもるくん」「人KENあゆみちゃん」も駆けつけてくれました。

人権啓発活動の一環として行われました。東川小と第二小は同月16日、第三小は7月10日に行いました。



教育展示林を整備します

東川町森林組合は、昨年に購入した林地(東6号北3線)5・2ヘクタールを教育展示林として整備することになりました。町特別功労者で北海道指導林家だった故佐藤正伸氏(平成27年、89歳で逝去)の所有林の一部だったものです。1959(昭和34)

伊藤秀子氏講演会

東川9条の会

札幌在住の弁護士で元衆議院議員、伊藤秀子氏を招いて講演会を開きます。

太平洋戦争で旧日本軍憲兵隊長を務めたという亡き父の戦争体験の苦しみと平和への思いを語っていただく予定です。

日時 8月20日(日)午後1時半
場所 第2地区コミュニティセンター

講師 弁護士、伊藤秀子氏
演題 父の遺言「戦争は人間を「狂気」にする」
参加料 大人500円(学生、障がい者無料)
チケット フレンドシップながさ

空の日・旭川空港まつり

9月10日(日)

管制塔、管制技術の見学	①9:00 ②10:00 ③11:00 3回(1回30分程度)	抽選で24人限定(往復はがきで応募、小学5年生以上8人×3回)
JAL飛行機探検と写真撮影	①9:00~11:00 ②11:30~13:30	どなたでも(小学生以下は保護者同伴、抽選)1回最大30人(2回)
空港化学消防車による放水実演と体験搭乗	11:00~12:00(3回)	小、中学生(各回2人)
ジンギスカンマルシェ 旭川空港で「ジンギスカン」に舌鼓(グリーンポート)	10:00~15:00	どなたでも
ANAグッズ販売会	10:30~15:00 (なくなり次第終了)	一般
ウォーキング・スタイリストMICHIO先生と一緒に健康ウォーキング(駐機場)	10:30~	抽選30人 小学高学年以上、または保護者同伴の子(子ども1人に対し保護者1人、小さなお子さまはご遠慮ください)
バスに乗って空港を見学するツアー	①12:00~ ②13:00~	小、中学生(抽選、各回22人)

※飛行日時の変更や天候、緊急事態などでイベントを変更、中止する場合があります。
※申し込み締め切りは8月28日(月)必着。往復はがきに参加希望のイベント、住所、氏名、年齢、学年、職業、電話番号を明記してご応募ください。応募はお1人さま当たり1応募です。〒071-1562、東神楽町東2線15号96、国交省旭川空港出張所内、旭川空港「空の日」実行委員会 ☎83-2541
※旭川空港駐車場は有料です。当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

他の各種イベント ▶ADO機内販売特別販売 ▶ANAの仲間たちの子ども似顔絵店、チョコレートアート会、イラスト会 ▶ホールインワンで遊ぼう ▶小型航空機の展示、機内撮影と飛行 ▶JAL KID'S STUDIO (キッズ制服撮影会) ▶ラジコン機の展示と飛行模擬体験 ▶東神楽町出店ブース ▶旭川空港ポストカード販売 ▶お楽しみ抽選会 ▶子供縁日